

## 全7科目受講された方への研修成果のインタビュー

中堅教員研修会全7科目を修了された4名に対し研修成果のインタビューを行った。  
 (4名のプロフィール概要は以下のとおり。) 調査方法はE-mailにて質問シートにご記入いただいた。

修了者	学校分野	性別	年齢	学校勤続年数
A	商業実務	男	48	3年
B	医療	男	43	7年
C	医療	女	38	10年
D	医療	男	38	7年

### <参考>

科目名	全受講者数
教員のキャリアデザインワークショップ	111名
新任指導力	175名
学校の経営	58名
体系的カリキュラム・シラバス作成	47名
教育・指導力向上	59名
学級経営・学生対応	53名
リスクマネジメント	61名
計(のべ)	564名

全7科目修了までの残り科目	人数
全科目修了者	4名
1科目	0名
2科目	2名
3科目	4名
4科目	12名

### ① 人としての変化

気付きと行動変化はありましたか。その内容を記述してください。

- 学校全体のことや若手職員の育成という点について、受講前よりも意識して行動するようになりました。特に「考えるだけでなく行動する」ということをモットーにし、若手職員のお手本となることはもちろんですが、ベテラン職員の方々からも信頼されるよう行動しています。
- 教員としての職務(教育)だけでなく、教員としてどのようなキャリアを歩んでいくかを考える契機となりました。また自身が与えられた職務をどのような考えで進めて行くかを多元的に考えられるようになりました。
- まず、授業内のグループワークや、個人で参加する研修においては「ファシリテーション」を意識します。また、今年度受講させていただきました「インストラクショナルデザイン」は、次年度のシラバス提出時に生かして見直しを考えております。また、私は防火管理者であることもあり、「リスクマネジメント」について意識することも、同僚に伝える機会も多いように感じます。その他の教科につきましてもテキストを見直したり、用語の確認を行ったりする機会があります。意識面では「キャリアデザインワークショップ」で感じた自身の決意を思い起こすこともあり、貴重な機会であったと認識しております。しかし、日常の雑事に取り紛れて希薄になる瞬間や、浅い知識にとどまり定着していないもどかしさを感じることもありますので継続学習の機会をいただきたいと思います。
- 教職員の面談の際に今まで以上に「質問・傾聴・観察・伝達」を意識して行うよう努めてきました。また、質問や伝達といったこちらから発する内容も本研

修で学んだものから相談内容に適したものを抽出するように努めました。相手の立場を考慮した上で発言し、相手に答えを導き出させるような対応を自然にできてきたと思っています。個人的には、仕事全体の視野が広がり、専門学校  
の教職員としての在り方がおぼろげながらも見えてきたような感覚でいます。

特に自身にとって有益で印象が残っている講座とその理由を記述してください。

- 自分自身が意識して行動を起こすことにより、若手職員やベテラン職員も一丸となつて同じ方向へ向かって行動することができるようになり、職員間の連携・まとまりが良くなってきたように感じています。全ての講座が役に立っているのはもちろんですが、特に印象深いのは「学校の経営」です。理解して実行するのに時間がかかりますが、今後の学校運営・募集活動等について考える際、現状把握することは当たり前ですが、「SWOT分析」の手法で考えると上手く整理がつくようになりました。
- 中堅教員研修はいずれの内容も、それぞれに大きな気づきを得られるものでしたが、特に印象に残っているのは「キャリアデザインワークショップ」です。大変お恥ずかしい話ですが、職業教育機関である専門学校の教員でありながら、自分自身がどのような職業人生を送るかについては不明確な部分がとても多くありました。その点について自らを見つめるキッカケをいただいたことで、その後受講した講座がさらに大きな意味を持つものとなりました。
- 私は、「キャリアデザインワークショップ」が一番大きく影響を受けており、有益であったと感じております。自身の現状を把握し、不足に感じる部分の強化とスキルアップを目指した結果“全教科受講”に至りました。また、個人的にもこの3年間で学びの機会を自主的に探して参加し、その積み重ねの結果として得られた現在の状況・立場があるように感じております。
- 少なからず各学科が抱える問題点の洗い出しができたことは成果であると思います。どの講座も印象的で有益な講座でありましたが「キャリアデザインワークショップ」が最も印象的でした。受講時は現職場に入職してからの5年半が過ぎたところであり自分について振り返ることや今後について考えることもなく、とにかく目の前の業務をこなしていただけだったかなと思います。その為、仕事全体を客観的に捉える大変良い機会になりました。最初にこの研修があったからこそ、その後の6つの研修も業務命令とはいえ、前向きに参加することができていたのだと思います。

今後のキャリアプランを記述してください。また、キャリアデザインワークショップでプランニングしたことが、他の研修受講を含めて実行できているかについて記述してください。

- 管理職や経営者側に立った職務に就きたいと考えています。キャリアデザインワークショップでプランニングした通り、学校運営の基盤である学生募集活動や職

員のやる気が出る職場環境づくりというものを常に意識して行動できていると思います。

- できている部分とできていない部分の両面があります。厳しい外部環境の中で内部環境への対応のみに手を付けるわけにも行かず、試行錯誤しながら少しずつ講座で得たことを実行しているという状況です。
- 今後のキャリアプランについては、大きな方向性は3年前にたてたものと変わりません。現在、担当教科の1つであるキャリア教育に関連して技能検定1級取得を目指して昨年より取り掛かりました。実技試験には合格できましたので、学科試験をきっかけに理論や知識の充実を図り、スペシャリストを目指していきたいと考えております。“他の受講生が実行できるか”については、個人差はあることと思いますが、出来ると考えます。ただ、日常に戻り時間の経過の中で行う微調整や変更、比重の変化も含めて『あり』だということをもう少し講座の中で伝えられてもいいように感じます。
- ①課員の教育・指導の材料として各学科長に対して「新任指導力研修」の内容を用いています。②新任教員の業務に対する悩みの解決策の一つとして「教育指導力向上」「インストラクショナルデザイン」の内容を用いています。③広報課・総務課職員との面談や会議において「リスクマネジメント」「学校の経営」の内容を用いています。上記のような形で、適宜各研修で学んだものを自分なりに活用しているのですが、自身のキャリアデザインについて具体的にどうこうというものは見出せていません。受講前に比べて学校で起こる全ての事を自分事として捉え「ただの連結ピン」にはならないように努めてはいます。

## ②職場組織としての変化

研修後の職場組織への還元（アウトカム）はしましたか。その内容を記述してください。

- 朝礼で研修内容の報告をした後、報告書を作成しています。特に時間をとって研修報告会などは行っていません。若手職員には、随時話し合いをする機会を設けており、その時に悩んでいることや困っていることなどについて研修で学んだことをもとにアドバイスするように心がけています。
- 講座受講後に必ず報告を行います。そこで足りなかった部分や自分の教わってきたことをより明確に伝える必要があると思われる職員には、個別で時間を取って話をしたりしました。自分の受講した講座を他の職員が受講してくれた時に、その思いがはっきり理解してもらえenと思います。※今年は3名の職員に受講してもらえたので、ひとつの大きな変化だと思います。
- タイミングと受講生の人数（1人の負担軽減）の都合で、中堅教員研修の直後ではありませんが、福岡県協会主催でインストラクショナルデザイン・プレゼンテーションスキルについての研修を内部研修の機会を作り還元いたしました。
- 「キャリアデザインワークショップ」と「新任指導力研修」については、報告書

を作成し全職員へ回覧しました。また、今年3月に校内での教職員研修会にて「キャリアについて考える」という題目で「エゴグラム」と「キャリアアンカー」を学園全職員に実施しました。自己理解だけでなく、其々の結果を同部署・同学科内の教職員同士で見せ合うようにし「同じ部署で働く人はこんな人なんだ」という他者理解を促進したうえで、次年度の個人目標を設定する場を設けさせていただきました。概ね好評であったと感じています。

職場内の他者からの評価が変わったところはありませんか。その内容を記述してください。

- どのように評価されているかはわかりませんが、私が考えたこと感じたことをいろいろな職員の方に相談すると、賛同・協力していただけることがほとんどなので、少しは信頼されているのかなと感じています。
- 特にこれと言って大きな変化は感じませんが、各職務にはそれぞれの立場で物事を考えなければならないのであろうということ、何となく理解し始めてくれているような気がします。
- 個人的な教員間の会話以外に表される機会はさほどありませんが、職場の管理者や上司には日常的に学びの機会を作っていることも含めて評価していただいているように感じます。(校内での教科担当・責任者を任されることなどから)
- 他者からの本当の意味での評価は測りかねますが、上司・部下関係なく相談を受けることは増えましたのでこれも一つの評価だと受け取っています。

研修受講により、職場に貢献できたと自己評価できるところはありますか。その内容を記述してください。

- 貢献できているかどうかはわかりませんが、以前に比べて職場環境の雰囲気は良くなってきていることに少しは貢献できているかもしれません。
- 学校運営活動をより組織的に行うことができるように試みを行っています。
- 今年度より本校においてのキャリア教育プログラムを作ることとなりました。まだ初年度でもあり、これから改良・調整が必要ですが、任され実施する機会をいただけることはありがたいことだと感じておりますので、貢献につながる働きをしたいと考えております。
- 昨年度は学科長、今年度は教務課長と立場が変わったこともありますが、各部署からの報連相をより多く受ける事で問題・課題の発見が早まり、上長と対応策を練る時間的余裕を捻出できてきたことは組織貢献だと思っています。研修の目的とは逸脱しますが、同じ資格を扱う他校の先生方と研修後も情報交換をさせていただいており、それがカリキュラム作成等の業務に大変役に立っております。

③継続的なトレーニング（研修会の受講等）実施の有無とその内容を記述してください。また、自己啓発の展望を記述してください。

- 中堅教員研修会以外では研修会の受講は行っていません。今後受講できる講座があれば参加していきたいと考えています。
- 必要性があると感じられる研修には積極的に参加をしていきたいと考えています。自分だけではなく組織内で個々が成長していけるようにサポートをしていきたいという希望を持っています。良い環境づくりが良い職場を生むと思うので、自分だけの成長ではなく、個から全体（組織）の大きな成長が成し遂げられる職場を作りたいと考えています。
- 全て業務命令ですが、他業種の方も受講される地元の研修会に年に数回参加しております。半日や一日のものばかりであり、且つ業務と直結し辛い内容も多いのでより本研修のありがたみを感じています。「幹部候補育成セミナー」「マーケティングセミナー」「ファシリテーションセミナー」等を受講しています。最近では業務に忙殺され気味ですので自己啓発を怠っております。

#### ④課題

TCE 財団中堅教員研修会の課題（現在の研修内容や他の要望）を記述してください。

- 研修内容は良いと思います。受講内容によっては、初めて耳にするものもあり、受講中に理解するのが困難な時がありました。「専門用語の解説集」などがあると短い時間でも理解が早くなるのではないかと思います。
- すべての講座に本当に意義のあることが詰まっていると思います。マイナーチェンジはあるかも知れませんが、今のままでも十分素晴らしい講座だと思えます。この講座を立ち上げられた先生方や財団職員の皆様の思いが詰まっている、素晴らしい講座だと思っています。
- 実施研修の学び直しの機会や、さらに深めた内容の実施をしていただきたいです。また、各地方の専修学校協会実施の研修との連携や体系的な組み立てを行っていただけますと幸いです。さらに、ポイント制についてもどのように生かすことができるのか明確にしていきたいです。
- どの研修も勉強になるものばかりで各講師の先生方には大変感謝しております。僭越ながら、その中で7つの研修を比較いたしますと「学校の経営」で扱われた内容は普段の業務で接することが少なく、また資料も多かったため個人的には難しい内容でした。もう少し簡素化された内容であるほうが研修効果が期待できるのかなという印象です。また、いくつか事前課題が出されましたが通常業務を優先し不十分なまま研修に臨んでおりましたので、若干申し訳ない気持ちもあったのですが、むしろ研修の時間内だけで完結してもらえる方が個人的にはメリハリもついて有難いです。

個人としての今後の課題を記述してください。

- これまで通り実行していくことはもちろんですが、職員の入れ替わりなどもあるので、新しい職員も戸惑うことなくやる気を持って職務に当たることができるように、マニュアル作成などをしていきたいと考えています。また、学校運営がより良い方向へ向くように他の部署の方との連携を密にしていきたいです。
- 講座で学んだことを、職場に合う形で如何に具現化するかは大きな課題です。
- スペシャリストとしての成長
- ①年上部下への対応 ②ファシリテーション能力 ③自分の時間が取れない

⑤今後、中堅教員研修会を受講される方へのメッセージを記述してください。

- 理解しやすいプログラムもあれば、なかなかすぐには理解できないものもあると思いますが、必ず役に立つ時が来ると信じて受講してほしいと思います。また、様々な専門学校の先生方と交流することで、悩みを共有したり解決の糸口を見出すことができたり、それだけでも研修に参加して良かったと思うことができます。壁にぶつかって悩んでいる方やスキルアップを目指す方にはとてもすばらしいプログラムになっていると思います。ぜひ全てのプログラムのコンプリート目指して頑張ってください。
- 中堅教員研修は間違いなく大きな収穫を得られる講座となります。一つ一つを大切に受講されることで確実に成長していけると思います。
- 全ての研修を受講して思うことは、どの専門学校でも抱える問題点・課題点を冷静に振り返り分析できる機会をいただけたのだなということです。研修は元より他校の先生方と利害関係なく率直に意見や情報の交換ができたことも大変有意義でした。

⑥各地方及び学校等に普及させるためのアイデアやご意見を記述してください。

- 開催地を増やせると良いと思います。北海道ブロックや九州ブロックなど地方ごとに開催地があれば、無理なく参加することもできるし、研修会後の交流も深められるのではないかと思います。ブロックごとに研修内容が違えば担当の講師の先生も違うため同日開催も可能になります。ただし、主催者あいさつとして岡村先生は一箇所にはしか行けなくなるため、他の方々に行っていただくか、事前に収録しておいてDVDで流すなどが必要となりますが、対応可能ではないでしょうか。
- 地域毎の開催もあるかと思いますが、開催する財団の方々や講師の先生方のご苦勞を考えると、そうも行かないのが現状でしょうか。地方ごとで開催できる講師の育成も必要かも知れません。
- まずは受講した私たちが自分の学校にしっかり還元することなのですが、なかなかそう旨くはいきません。受講者が講師の方々のように研修はできませんし、その時間を捻出すること自体が困難な現状であるとも感じます。しかし、多くの受

講者も何かしらの思いや考えを胸に自校に帰っている筈です。例えばTCE財団と地方の専各連とがより密な連携を取ることで、その都道府県（関東や九州といったエリア分けでもよいのですが）のみの「中堅教職員研修受講者の集い」のようなものを開催し、研修後の振り返りを行っていくというのは如何でしょうか。「卒後研修」成らぬ「研修後研修」のようなものでありますが、受講者間のネットワークの強化が普及の一翼を担えるのではないかと考えます。また、「受講された先生が自校に戻ってこんな取り組みをしていますよ、だからそちらの学校でも受講を検討されてみてください。」といった実績作りも今後の宣伝材料には必要であると思います。

⑦その他、自由に記述してください。

- 研修ではたいへんお世話になりました。まだまだ未熟なため更に受講させていただけるプログラムを作っていただけるととても助かります。
- 岡村先生、講師の先生方をはじめ、講座でご一緒させていただいた多くの先生方、財団の職員の皆様と出会えたことは、自分にとっての大きな財産だと思います。それぞれの先生方の考え方に感心したり、教わったり、魅力を感じたり、本当に刺激の多い7回の講座でした。先生方や財団の皆様の思いをカタチにすることが、専門学校という教育機関をより良いものに変えていく力になるのだと思います。これからも頑張りますので、今後ともよろしくお願い致します。
- キャリアデザインワークショップの冒頭で、岡村先生から「例えこの研修の参加が業務命令であったとしても、この3日間だけは自分自身の事について考えるわがままな時間にしてもらいたい」という旨のお言葉で、フッと肩の力が抜けて自然体で研修に参加することができました。研修で得た全てを組織に還元できているわけではありません。しかし、個人的にはとても有意義な時間を過ごさせていただきました。同じ境遇の先生方と交流を持つことで業務の捉え方や自身の在り方について真剣に考えるきっかけになりました。どの研修も大変勉強になりました。改めて全ての講師の先生方及び事務局の方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。